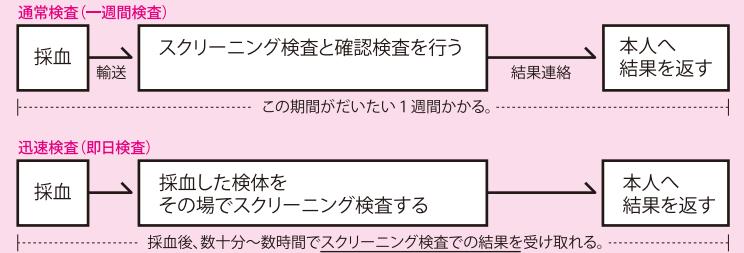


迅速検査って便利?

通常検査(一週間検査)と迅速検査(即日検査)
かかる時間が違うのはどうして?

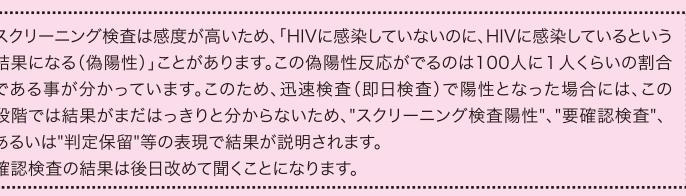
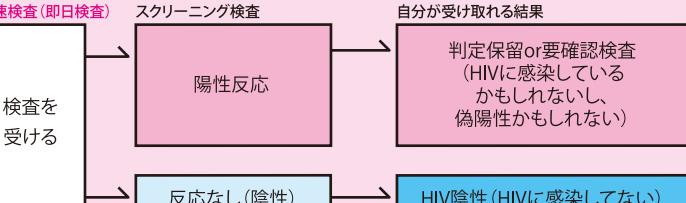
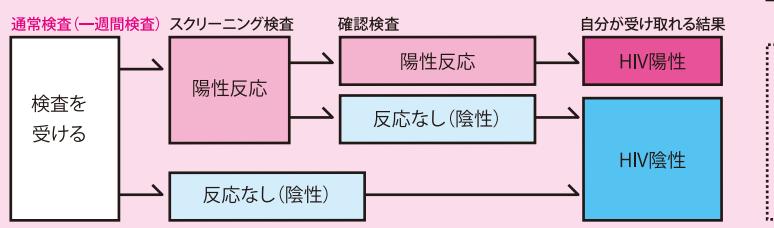
通常検査(一週間検査)は採血から結果を受け取るまで約一週間かかります。これは、採取した血液(検体)のスクリーニング検査と、スクリーニング検査が陽性だった場合には確認検査を専門の機関で行なうからです。一方、迅速検査は、結果がすぐに出る検査法を用いて、その場でスクリーニング検査をするので結果を受け取るまでの時間が大きく短縮されます。

通常検査はどうしても採血と結果を受け取るのに2回検査場に行く必要があって、なかなか時間がとれなかった人には、迅速検査は受けやすい検査です。



迅速検査で数時間のうちに結果が分かるなら
わざわざ通常検査を受ける必要はない?

HIVの検査は最初に「スクリーニング検査」をします。これは、HIV感染の可能性があるかもしれない全てに敏感に反応する検査だと思ってください。次に、スクリーニング検査で反応したものが、HIVによるもののかどうかを調べる「確認検査」を行います。この確認検査の結果が陽性だった時、HIV陽性が確定=HIVに感染している、ということになります。この確認検査まで行った結果を返すのが通常検査です。一方、迅速検査はスクリーニング検査だけを行った結果をますます伝えるので、スクリーニング検査の結果陽性になった=HIVによるものかどうかはまだわからない、ということになります。その場合は、確認検査が必要になり一週間ほど時間がかかります。迅速検査でもらえる結果は、「陰性」か「陽性」かもしれない(要確認検査・判定保留とも呼ぶ)どちらか、ということになります。



スクリーニング検査は感度が高いため、「HIVに感染していないのに、HIVに感染している」という結果になる(偽陽性)ことがあります。この偽陽性反応がでるのは100人に1人くらいの割合である事が分っています。このため、迅速検査(即日検査)で陽性となった場合には、この段階では結果がまだはっきりと分からなかったため、「スクリーニング検査陽性」、「要確認検査」、あるいは「判定保留」等の表現で結果が説明されます。

確認検査の結果は後日改めて聞くことになります。



迅速検査では
はっきりしない結果をもらう事もあるってことですね。

スクリーニング検査で陽性(要確認検査・判定保留)となった時は、当日は「はっきりしない結果」をもらうことになります。確認検査の結果は後日改めて受け取りに行く必要があります。ですから、その日のうちに検査結果が分かると思って行って、また後日来てくださいと言わされたら、予備知識や事前説明が無いままに検査を受けた人は混乱しますよね。当然、感染していると思い込んで不安を抱える事もあります。

ただ、ウンドウビリオドを過ぎた後で迅速検査を受けて陰性となった場合は、陰性である事が確定します。

HIVサポートライン関西(HIV陽性の人とパートナー・家族のための電話相談)では、「はっきりしない結果」をもらった人の相談にも対応しています。電話番号は裏面の「電話相談情報」みてね!

迅速検査で判定保留になった時のサポートは
まだ十分とはいえない訳ですね。

迅速検査は、思い立った時やちょっと時間が空いたときに、さっと受けられる検査です。ただ、気軽に受けられるだけに判定保留の結果を予想していない場合には、気持ちの整理がつかない状況になることもあります。検査を受けるときには「検査で自分のHIV感染が分かるかもしれない」という心構えが必要になってきます。しかし、採血をした後は、迅速検査では心構えをする時間がすごく短い一方、通常検査では結果が出るまでに1週間程度の期間があり、この間に、HIV陽性だった時のことなどについて、自分自身の考えが整理でき、結果を聞く心の準備ができるかもしれません。どの検査を受けるにしても、検査で何が分かるのかを知った上で、気持ちを十分に確かめていましょう。



通常検査も迅速検査もそれそれの特徴があります。
自分のライフスタイルに合った検査を選んで受けてみることはもちろん、
どの検査を受けるにしても、結果に驚かないように
気持ちを十分に確かめてから受ける事をオススメします!

>>>TEACH



気になるけど、誰に聞いたらいいいのかわからない。知りたいけど、どうやって調べたらいいのかわからない。
そんなみんなの疑問に、経験豊富な兄貴(時にはアネキ)が答えるコーナー。

「日本のエイズ対策って、どこに書いてあるの??」

国の大統領の方向性を定める「エイズ予防指針」が改定されます。そもそも「予防指針」って何?また今回の改定で、何がどう変わるの?
長年に渡りMSM向けエイズ対策の先頭に立ってきた市川先生に聞いてみました。

「エイズ予防指針」って知ってる?

「エイズ予防指針」って、聞いたことある人もいると思います。正式には「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」というもので、わが国の「エイズ対策の方向性を示す」ことを目的としています。

厚生労働省は、この指針によって、エイズ対策を推進するために、

正しい知識の普及啓発と教育、保健所等における検査・相談体制の充実によりHIV感染の予防や感染拡大の防止を行い、感染者・患者には人権を尊重した質の高い適切な医療を提供するなど、総合的なエイズ施策を講じることとなっています。

エイズ予防指針がでて10年を過ぎましたが、新規のHIV感染者は、エイズ患者は増加傾向が続いている。2010年の新規感染者数は1075件で過去3位、新規の患者数は469件で過去1位でした。エイズ予防指針の内容は、5年ごとに、必要に応じて見直すこととなっています。未だにエイズ患者が増えているわが国の場合、今年の1月から2回目の見直しが行われました。

今回の見直しで、何が変わったか?

エイズ予防指針には、国や都道府県等は、個別施策層に対して人権や社会的背景に最大限に配慮して、きめ細かく効果的な施策を実施することが重要だと記載されています。個別施策層には、①性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年、②言語的障壁や文化的な障壁のある外国人、③性的指向の側面で配慮の必要な同性愛者、④性風俗産業の従事者及び利用者が挙げられています。今回の見直しでは、男性同性間の性的接触による感染が多数を占めていることから、③の対象層を「男性同性愛者」と明記しています。また、静注薬物使用がHIV感染と強く関連し、海外で急速にHIV感染が拡大した地域があるなどから、「薬物乱用者」が追加されたことが特徴といえます。

さらに、男性同性愛者に対する啓発では、自治体が当事者・NGO等と連携することが必須であること、青少年への教育等においては、青少年の多様性に応じた取り組みが必要であることなどが追記されています。

改定されたエイズ予防指針には、「NGOと連携したエイズ対策」の記載が随所に見られます。NGOの活動、特にコミュニティや社会とのかかわりをもった活動を継続していくためには、国や自治体等の積極的な協働体制が必要と考えます。

5年後には、同性間のHIV感染について、感染者への治療について、少しでも改善されていることを望むものです。



今月の(熟年)兄貴

1998年以来、
疫学研究者の立場から
我が国MSM向けエイズ対策を
牽引してきた
名古屋市立大学 看護学部教授
市川誠一さん

>>>HUMAN

今月の「顔」

vol.53 びぜん

毎月表紙を華やかに飾ってくれる
カバーボーイくんの写真像を
ちょっとだけお見せするコーナー

——趣味は何ですか?
趣味といついいのかどうかわかりませんが、バレーボールが好きです。VB clubというチームに入っています。週2回、水曜と日曜に練習します。部員も募集中なので興味のある方は是非!(笑)

——付き合っている人はいますか?

います! 東京の人なので遠距離なんですね。しかもお互いにメールや電話はマメなほうではないので連絡もそんなにしないんですよ。だけど月に一回くらいのベースで彼氏が大阪に会いに来てくれるんです。僕も東京に行きたいんですけど、なかなか時間が取れなくて…今は相手に甘えちゃっています。

——セックスのポジションはどっちですか?

ウケ! それ以上はノーコメントでお願いします(笑)

——じゃあ…セーフアーセックスって聞いて、どんなイメージを浮かべますか?
すぐに思いつくのは、挿入の時にはゴムをつけるかやったあとすぐがいふると…あと、ゴムつけるのもたつくと湯が冷めるから、さっつけるテクとかワザがいるんだろうなあって思いますね。



年齢:27歳
180・95
AB型
ふたご座

>>>GOURMET

堂山やミナミから歩ける範囲にある オモロイところ、オイシイお店を訪ねるコーナー マリキータ・オニリカ 夜のグルメ世界紀行

前回のブラジルのブラックなイベントから大阪の街にどう転じたかと考えあぐねたすえ、「ブラジルに対抗できるのはロシアしかない!」っていう良くワカンナナイ理由で、今回はめでたく(?)福島の名物屋台くボーチカを取り上げることにしました。聞いたことあるけど?なくビヨンキ<>ボルシチ<>ビーフ・ストロガーフンなんて料理の数々が「え、こんなにオイシいものだったの!」とな具合に、上品な家庭料理風味付けていただけるのにビックリ。ヨーグルトとかサーバクリームとかが隠し味的に仕込まれた、なんともやさしいお味は、中華とは一線を画すトルコ料理に近い印象。でもトルコ料理のお店なら幾つか知ってるのに、ロシアとなるとここ以外まったく聞かないのはいたい的な気がする。ブラジルのお店だってあるご時勢だし、BRICSの中では断トツに馴染みが薄いわね…何か政治的な背景もあるのかしら、なんて妄想は膨らむばかり。ええ、きっと妄想なんかではなくて、文化のかけらも感じられない米国の「食文化」に対抗できるような文化戦略を持っていただきたいんだが、芸術だけが文化じゃないでしょ、って彼の國のリーダーたちに心の中で毒づいてる自分がいて、あら、食べ物のラミは恐ろしいわね…



>>>TOPIC

Sexual Health Information 知っとこ! セックスライフと健康をめぐるホットな情報

今回のテーマは
「第10回アジア・太平洋地域エイズ国際会議」報告 その2

先月もお伝えした釜山での第10回アジア・太平洋地域エイズ国際会議。最終日の全体会議では、全体会議として初めて(!) MSMが取り上げられ、タイ厚生省のvan Griensven氏(彼自身は白人)が講演しました。彼は数年前、

タイ・バンコクのMSMにあいだにHIV感染が蔓延していることを明らかにして世界をあわせた研究者なのですが、今日はHIV感染のリスク要因として社会心理学的要因を取り上げ、タイのMSMやトランス・ジェンダーの人たちがHIVに感染しやすい要因として:

薬物使用/アルコール中毒/自殺傾向/ 性的虐待の経験

の4つをあげています。これらの要因が生物学的要因(直腸粘膜が傷つきやすい)や社会的要因(セクシュアルネットワークがやすい)と結びつくことで、感染爆発とも呼べるような状況が生じているわけです。我が国でもネット調査プロジェクトREACHなどにより、これらの要因が少しずつ明らかになってきています。(鬼塚哲郎)



「SaL+」は、MASH大阪が定期的に発行するコミュニティペーパーです。SEX and LIFEの頭文字を取って、それに少し付け加えて「+」健康なセックスライフに役に立つ情報や、街の情報を発信していくけれど思っています。お店やショップで見かけたら、ぜひ手に取ってみて下さいね!!

□編集後記

というわけで中国やインドとは比較にならないロシア、いえ、料理の話ですが。ロシアがアジアではないこの話なのでしょうか。でもくボーチカのボルシチやビーフ・ストロガーノフは文句なく美味しさ一品で、アジアの宫廷料理に疲れた胃にとてもやさしいのです。これでまた、福島話での理由が増えました(oni)。

こないだの連休に博多で行われていたレッドリボンゲームスというスポーツ大会に行ってきました。ハレはすごかったです。終わらないラリーにハラドキ、胸が熱くなりました。うつぶ男前でスポーツできるとか!できるとか!!!!!!!o(>△;)o(汗)まだ、博多の街をあまりほほ見れなかったのがちょっと心残り。なので、次行く時は1週間くらい時間つけてゆっくり回りたいと思います。

ご意見・ご要望・ご叱責などがありましたら、FAXまたはEメールにてMASH大阪事務局(+)までお寄せください。

SaL+

MA SH OSAKA
〒530-0027 大阪市北区堂山町17-5 番ビル4階
TEL/FAX 06-6361-9300
office@mash-osaka.com
厚生労働省委託事業「同性愛者のHIVに関する相談・委託事業」